

登別子育て支援センター 豆まき

2月2日、登別子育て支援センターで豆まきイベントが行われました。

集まった親子連れは、まずウォーミングアップとして、鬼に見立てた張りぼてに、豆代わりのカラーボールをぶつける練習。来たるべき闘いに向け、子どもたちの緊張感が高まっています。

そこへお囃子とともに、地獄谷からやってきた湯鬼神がプレイルームに入場。子どもたちは呆然として、事前練習の経験もむなしく、立ち尽くしたり泣いてみたり。

それでも次第に湯鬼神の優しさが伝わった子どもたちは、思い思いに触れ合いを楽しみました。

福は内、鬼も内

2/2



▲3本の綱めがけてダッシュ



▲手に汗握る総力戦

大熱戦、雪上3本綱引き

1/28

1月28日、晴天に恵まれた青葉小学校グラウンドで『第4回あおば冬祭り』（『あおば元気な会』主催）が行われました。

同祭りの目玉は、厚真町発祥の『雪上3本綱引き』。大人と子ども混合の10人チーム同士が対戦し、3本の綱のうち2本を自陣に引き込めば勝ちとなる独特なルール。どの綱を狙うのか、あるいは戦力だけをどう分けるかなど、綱を引く力の合計だけでは勝負が決まらない、戦略性の高い競技です。

いざ試合が始まると、雪に足を滑らせ転ぶ選手や綱ごと引きずられる選手が続出。なかなか作戦どおりに進まない試合展開に会場は声援と笑い声に包まれ、冬の楽しい一日となりました。



▲子どもの反応に戸惑う湯鬼神

厳寒の湯かけ合戦 勝敗の行方は

第51回登別温泉湯まつり

2/3・4



▲太鼓と笛の音に合わせて餅をつく『子宝もちつき舞』



▲騎馬戦で鉢巻きを取り合った『源泉湯かけ合戦』

2月3日・4日の2日間『第51回登別温泉湯まつり』（登別国際観光コンベンション協会・市主催）を開催しました。

同まつりは、登別温泉の多彩で豊富な湯量が尽きることはないよう祈願し、天与の効能に感謝をするとともに、赤鬼・青鬼の『湯鬼神』が、登別温泉・カルルス温泉街のホテルや旅館、商店などに登場し、観光客や市民の厄払いなどを行うものです。

各所では『湯鬼神かぐら』が披露され、訪れた市民や観光客の厄払いが行われたほか『子宝もちつき舞』やおしるこの振る舞いなどが行われました。

4日の夜には、ふんどし姿の男衆による『源泉湯かけ合戦』が泉源公園で行われ、氷点下の中互いに湯をかけ合い、勇壮な騎馬戦を繰り広げました。

紅組が勝つと登別温泉の湯の温度が上がり、白組が勝つと湯量が増えることとされ、今年は激闘の末に引き分けとなったため、湯温上昇、湯量増加が期待されています。